

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

お客さまの声を明日への羅針盤とする「最も身近で信頼される銀行」を目指す

配当性向
50%程度

② 中長期の経営戦略

1. リテールビジネス

お客さま基盤の維持・深耕を最重要課題とし、通帳アプリを中核にリアルとデジタルチャネルの相互補完を推進。デジタル技術で業務改革し、資産形成サポートと生産性向上を図る

3. Σビジネス

ゆうちょキャピタルパートナーズ等を通じ、投資の質を重視。地域企業の成長支援と地域課題解決を通じ、地方創生と地域経済発展に貢献しサステナブルな収益基盤を構築

2. マーケットビジネス

国内金利上昇トレンドを捉え、預け金から日本国債への投資シフトを推進。円金利資産とリスク性資産を組み合わせた最適な運用ポートフォリオを追求

4. 人財戦略

「成長を促す」「能力を引き出す」「多様性を活かす」の3柱で、変化を捉え金融革新に挑戦する人財を育成

③ 対処すべき課題

① 金融市場の不透明性

- ・米新政権の関税政策等による金融市場混乱・世界的景気後退リスク
- ・適切なリスク管理下での安定的収益確保が課題
- ・ダウンサイドリスクへの対応

② 社会環境の急速な変化対応

- ・生成AI浸透を始めとする社会のデジタル化進展への対応
- ・人口動態の変化への対応

③ 顧客情報管理体制の再構築

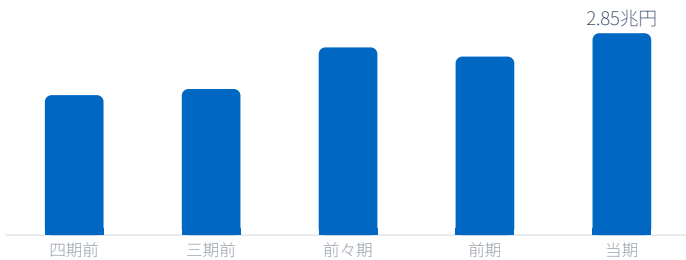
- ・郵便局での無同意の貯金等非公開情報利用の事案を受けた再発防止
- ・日本郵便への管理・監督体制の強化

面接で使えるポイント

- ・郵便局ネットワークと通帳アプリを活かし、リアルとデジタルの相互補完で顧客接点を強化する取り組みに注目
- ・ゆうちょキャピタルパートナーズを通じたΣビジネスで、地方創生と地域経済発展に貢献する姿勢が強い
- ・2025年度の中期経営計画最終年度として、次期計画に向けた経営基盤強化と企業価値向上を同時に推進

証券コード 7182

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
2.85兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
11点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 51.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
730万円

銀行業内 41位/78社

平均年齢
45.8歳

銀行業内 12位/78社

平均勤続
21.0年

銀行業内 12位/78社

女性管理職
20.8%

銀行業内 19位/57社

男性育休
100.0%

銀行業内 22位/55社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: 大谷翔平が「ゆうちょ銀行」ブランドアンバサダーに就任。MUF

